

JTU-HYOGO  
兵庫高等学校教職員組合  
日本教職員組合(日教組)

# 兵高教新聞

裏面紹介

- ◇ 学校技能労務職員採用試験出願開始
- ◇ 近プロカリキュラム編成講座案内
- ◇ 2023 人勤期署名行動 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp 発行人：西村恭介 編集人：兵高教書記局

## 今、学校が大ピンチ！

# 「教員不足」深刻化、採用試験応募者減少止まらず

6月12日(月)、兵庫県教育委員会は「令和5年度兵庫県『教員不足』に関する調査結果」を記者発表しました。

調査結果によると、神戸市を除く県内公立学校(小・中・高・特別支援)の2023年5月1日の教員不足の状況は左の表のとおりで、総計で164人、全ての校種で前年度より増加しています。同じく、6月8日(木)に公表された「令和6年度兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験の応募状況」においても、全ての区分で志願者は昨年度から減少しています。

県教委は教員不足の要因として「①産休・育休取得者の増加や、特別支援学級の見込み以上の増加などに伴う臨時講師等の需要増 ②近年の大量退職に伴う大量採用による臨時講師等の登録者の減少等が挙げられる」としています。が、それ以前に教員の過酷な勤務実態が一向に改善していないことが、最大の要因です。

4月に公表された「文科省教員勤務実態調査」速報値では、2019年の給特法改正で策定された「上限指針」が遵守されておらず、教員の長時間労働の実態はほとんど改善されていないことが明らかになっています。兵庫県教育委員会が4月に公表した勤務実態調査の結果でも同様の傾向がみられ、全校種平均の一月あたりの超勤時間は「上限指針」を上回っている状態です。

教員不足の解消には、多くの教員が過労死ラインを超える働き方を強いられるという状況を改善することが何よりも重要です。

	2023	2022	前年度比
総計	164人	114人	+50
小学校	73人	46人	+27
中学校	61人	46人	+15
高等学校	18人	16人	+2
特別支援学校	12人	6人	+6

5月には、文科大臣より中教審に「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について」が諮問され、新たに設置される「質の高い教師の確保特別部会」が今月中に議論を開始することになります。また、自民党の「令和の教育人材確保に関する特命委員会」(委員長は萩生田光一政調会長)では、5月に「令和の教育

委人材確保実現プラン(提言)」をまとめています。このプランでは、中学校35人学級の実現や全ての教員の時間外在校等時間を月20時間程度とする目標などを掲げていますが、「定額働かせ放題」と揶揄される給特法の枠組みには手を付けず、教職調整額を少なくとも10%以上に増額する必要があるとし、学級担任手当等の創設などにも言及する内容です。時間外在校等時間の月目標を示したものの、その目標を実現するための法制的なしくみや具体的方策、スケジューリング感については何ら示されておらず、到底実効性あるものではありません。また、教職調整額を10%に引き上げたとしても、実際の超勤勤務時間には全く見合いません。むしろ、このような小手先の対応で「教員の働き方改革」を幕引きするようでは、根本的な問題は何ら解決せず、日本の公教育の持続可能性は担保されません。

これに対し、立憲民主党は6月2日、「給特法廃止・教職員の働き方改革促進法案」を衆議院に提出しました。この法案では、「給特法の廃止を含めて抜本的な見直しをおこなう」「公立義務教育諸学校の学級編制の標準及び教職員定数の標準に関する事項、外部人材の確保及び資質の向上・外部人材と公立学校の教育職員との適切な役割分担及び相互の連携協力の確保に関する事項等について、必要な法制上の措置その他の措置を講ずる」「公立学校の教育職員が本来担うべき業務の範囲を明確化すること」「人材確保法の趣旨及び教育職員の職責の

重要性、求められる高度の専門性及び勤務形態を勘案し、公立学校の教育職員について、給与等に関する適切な処遇の確保が図られること」等が盛り込まれています。

学校をだれもが安心して働き続けられる職場にするためには、教職員の命と健康を守る実効ある学校の働き方改革をすすめることが必要です。働き方改革を含めた持続可能な学校のあり方について議論が始まる現在、すべての組合員が参加するとりくみにより現場の声を中教審や国に届けることに加え、世論喚起が不可欠です。兵高教は兵教組とともに、6月25日に神戸新聞に意見広告を掲載します。また、7月に開催される『今、学校が大ピンチ!』日教組働き方改革中央集会(左記参照)に参加するなど、とりくみをすすめます。

## 「今、学校が大ピンチ！」 日教組働き方改革中央集会

と き：7月27日(木) 11:00~12:30

ところ：全電通労働会館ホール

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3丁目6)

※前日7月26日(水)に行われる「公務員連絡会 2023 人勤期 7.26 中央行動」から引き続いての参加を原則とします。詳細は書記局にお問い合わせください。

兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU 日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。  
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

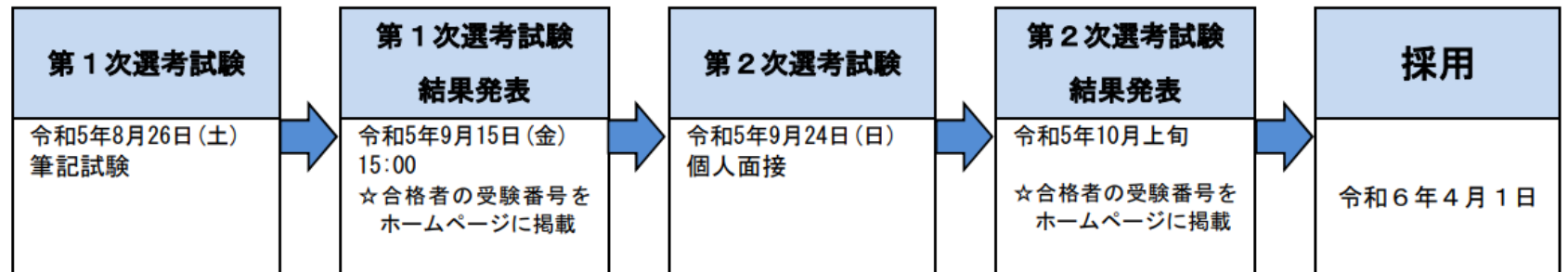


# 2024年度 兵庫県立学校技能労務職員・採用候補者選考試験出願開始

6月14日(水)、兵庫県教育委員会・総務課は「令和6年度兵庫県立学校技能労務職員採用候補者選考試験」実施要項を公表し、出願が始まりました。出願期間は7月3日(月)17時までとなっています。

兵高教が長年要求を続けてきた学校技能労務職員の正規職員採用再開が、いよいよ実際にスタートします。昨年度採用再開が実現した普通科実習教員・寄宿舎指導員の受験資格が45歳までとされていることから年齢制限についての懸念がありましたが、教員と同じく定年退職年齢前まで(採用時点で62歳以下)とすることができました。

出願後のスケジュールは以下の通りです。組合員の受験者サポートについては、ご相談ください。



兵庫県教育委員会総務課 採用情報はこちら → <https://www2.hyogo-c.ed.jp/hpe/somu/r6girousaiyo>

第29回日教組  
**近畿ブロック  
カリキュラム  
編成講座**

8月4日(金)  
~8月5日(土)  
アウィーナ大阪

8/4 全体会 14:30~16:40  
記念講演  
「学力格差を超える学校づくり」  
大阪大学教授 志水 宏吉さん  
夕食交流会 17:00~19:00

8/5 分科会 9:30~12:30  
※概要は裏面参照

- A すべての子どもの人権に視点をおいた  
学級・学校・地域づくり  
レポート発表: 大阪・兵庫
- B インクルーシブ教育をめざした  
学級・学校・地域づくり  
レポート発表: 奈良・兵庫高
- C 子ども主体の学級・学校・地域づくり  
レポート発表: 滋賀・和歌山

お問い合わせ先: 大阪府教職員組合 TEL: 06-6765-1558  
主催: 滋教組 きょうと教組 奈良教組 奈良高教組  
日教組和歌山 大阪教組 兵教組 兵高教

2023年度  
**第5回臨採者学習会  
- 採用試験対策講座(5) -**

7月8日(土) 13:30~16:30  
神戸市教育会館 501号室

【内容】  
★ 一次試験・筆記試験において  
(一般教養・模擬試験を行う予定です)

◆どなたでもご参加いただけます。  
資料代500円、組合員(当日加入者含む)無料。

参加予定の方はできるだけ事前に電話/メールでご連絡ください。

記念講演のみ、分科会のみのご参加でもかまいません。託児もできます。近畿ブロックのなかまと、ともに学び、交流してみませんか。詳細は書記局にお問い合わせください。

**日教組・兵高教公式 LINE の登録を!**

日教組および兵高教では、それぞれ LINE による情報発信を行っています。ぜひご登録をお願いします。



日本教職員組合



兵高教

**公務員連絡会 2023年人勸期署名行動**




Web 署名行動「ネットシグネ」に取り組もう!

引き続く物価高騰下において、近年にない成果を上げている民間春闘を引き継ぎ、日々現場で奮闘する組合員の生活を守るため、全世代にわたる職員の賃金引上げを勝ち取らなければなりません。

また、本年の人事院勧告において、「社会と公務の変化に応じた給与制度の整備」の具体的な措置についての骨格案が示されることから、皆さんの想いを集め、現場から意見反映することも必要です。

要求事項の実現にむけ、職場の実情や皆さん一人一人の想いを人事院にぶつけるためにも、力を結集しましょう!

スマートフォンでの署名は下記QRコードから

みんなで 団結!

兵高教は、子どもたちの学びと教職員の生活に関わる情報を、迅速かつ正確にお届けします。